ぱいおん通信

学ぶ楽しさ、知る喜びを伝えたい

パイオン総合教育研究所

第169号

2017年(平成29年)

12月

倉敷市西富井1225-16

TEL.(086)427-7521

E-mail:pione@aid2005.com

始めと終わり！

昔から、物事は始めが肝心〉と言いますが、一方で〈終わりよければすべてよし〉とも言います。要はどちらも大事ということですね。１２月は、まさに〈終わりよければすべてよし〉の月です。１月は〈始めが肝心〉の月だと思います。今年１年間を振り返って、〈終わりよければすべてよし〉と言える１２月になったでしょうか。受験生にとっては、これからが本番。〈終わりよければ…〉となるように、合格まで頑張りましょう。本年も、ありがとうございました。

光田　嘉文

人生いろいろ、色もいろいろ！(No.9)

クリスマスカラーといえば、やはり基本的には赤と緑ですよね☆このクリスマスカラーとして赤と緑が定着したことには理由があるそうです。赤はキリストの愛と寛大さを表現し、緑は針葉樹の生命力が強いことから永遠の生命の象徴として用いられているそうです。

●YELLOW GREEN ～平和・愛～

緊張のない安心できる環境を作る穏やかな人です。イエローグリーンは優しく穏やかなあなたを表す色です。いつもにこやかに微笑んでいます。守る力が強いので、変化を察知する能力が高く、環境の変化に対する柔軟性と状況に応じた自在な対処をする能力があります。課題は創造的な自分の世界を持ち、自分で一歩をふみだすことも学びましょう。

妹尾　誉子

「馬のふれあい体験教室」に行ってきました！

11月25日(土)に倉敷市社会福祉協議会と森の馬小屋の共催で行われた『倉敷市障がい児と馬のふれあい体験教室』に行ってきました。実際に馬やポニーに乗った子ども達は馬の歩くリズムに上手く合わせて乗りこなそうとする姿がたくさん見られました。

にこやかに乗る子や緊張した表情で乗っている子など様々な表情が見られましたが、ピースサインで写真を撮ってもらっていたりと余裕を見せる子もたくさんいました。また、餌やりの体験コーナーもあり、中には想像していたより馬が大きく腰が引けてしまっていたりする子ども達もいましたが普段体験する事がない事を体験出来、とても充実した良い経験が出来た１日になったのではないでしょうか。

中村　昭平

児童発達支援 放課後等デイサービス

HOT ROOM

提供時間　14：00～18：00

受け入れ　　幼児～高校生

空き状況 <12月1日現在>

ほっとルーム倉敷

月	火	水	木	金	土	日
x	△	x	x	x	x	休

ほっとルーム倉敷Ⅱ

月	火	水	木	金	土	日
x	x	x	x	△	x	休

ほっとルーム倉敷Ⅲ

月	火	水	木	金	土	日
x	x	x	x	△	x	休

ほっとルーム倉敷

「ほっと」するところ
「Hot」なところ
「発途(ほっと)」できるところ

子どもたち○△□ 第32回

『ドラえもん』に描かれているジャイアンとのび太はＡＤＨＤの典型像です。２人を使って症例を説明しましょう。今回はジャイアン型を紹介します。

●ジャイアン型

自分の思い通りにいかないと、急に怒り出し、前後の見境もなく衝動的に周りの友達に手が出てしまいます。順番を守らず、「やりたいときがオレの番」なので、ほかの子を押しのけて割り込むこともあります。エネルギーのかたまりでいつも元気いっぱい。周りをグイグイ引っ張り、強引ですがリーダーシップを発揮します。学校で集中力がなく、落ち着きのない感情の起伏の激しい、衝動性優勢型のＡＤＨＤと言えます。

池永　慎一

【感覚統合あそび】 第6回

～シンクロ描写～

左右の手の動きを調整して目の使い方を育てます。左右の手の動きを調整する為には、認知機能の１つである、「注意の分散機能」が必要です。

(ねらい)

左右同時に直線を引いたり、形を描いたりすることで、左右の手に注意を均等に分散する事を覚えます。スピードや動かし方の加減が出来るようになる事と、視線をコントロール出来るようになる事を狙いとします。

中村　昭平

児童発達支援・放課後等デイサービス

ほっとルーム倉敷

①“ほっと”するところ

子供さんも保護者の方も心安らかに、心豊かに、過ごせる時間と空間を提供します。

②“Hot(ホット)”なところ

情熱を持った指導員が、優しく温かく指導します。

③“発途(ほっと)”なところ

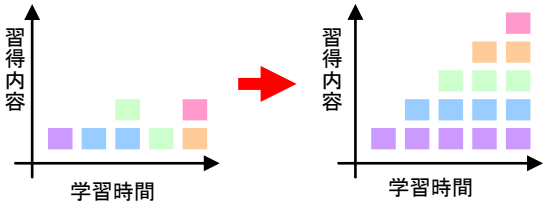
発途(ほっと)とは、「出発すること。門出。」という意味があります。子どもさん各人の門出の場所になりたいと考えます。

学齢期の支援＝生活能力＋学習能力

●「ほっとルーム」の学習支援

学齢期になると勉強に対する要望が高くなります。やみ雲に学習したのでは結果があらわれにくいものです。各自の特性に応じた習得手段が必要です。

当事業所では学習を療育の手段として用い、コミュニケーションに必要な傾聴力・表現力・習得力・集中力・姿勢保持などの生活能力の向上と共に自己肯定感を養い、自立への促進に努めています。



成長と共に必要な支援は変化します！

お問合せ･ご相談は･･･

ほっとルーム倉敷
〒710-0847 倉敷市東富井 987-10
電話０８６－４２７－７５００

ほっとルーム倉敷Ⅱ
〒710-0834 倉敷市笹沖 695-1
電話０８６－４２７－７５４０

ほっとルーム倉敷Ⅲ
〒710-0038 倉敷市新田 3057-8
電話０８６－４２７－７５４４

関連施設

パイオン総合教育研究所
・学習塾パイオン　（個別指導）
・鹿島学園高等学校　倉敷学習支援センター（通信制高等学校）

学ぶ楽しさ、知る喜びを伝えたい